

## 研究業績一覧

山崎真実

2026年1月現在

※肩書は当時。

<卒業論文>指導教官：高橋英樹教授（北海道大学農学部）

「北海道の絶滅危惧種の現状－特に情報不足種の標本文献整理を中心にして－」

<修士論文>指導教官：高橋英樹教授（北海道大学農学研究科）

「北海道に分布するコウホネ属 *Nuphar* の形態分類学的検討」

<博士課程でのテーマ>指導教官：高橋英樹教授（北海道大学農学院、同大総合博物館）

浮葉性ミクリ属の形態分類学的検討（※2007年～2013年在籍、単位取得満期退学）

<投稿論文>※共著含む。

(1)学術論文(査読あり) 10本

山崎真実, 2003. 北海道におけるウキミクリ(ミクリ科)の新産地. 植物地理・分類研究 51 : 77-79.

高橋英樹・山崎真実・佐々木純一, 2005. オゼコウホネ(スイレン科)の1新品種. 植物研究雑誌 80 : 48-51.

山崎真実・持田 誠・加藤ゆき恵, 2008. 北海道涛沸湖にて果実を伴うヤハズカワツルモ(ヒルムシロ科)を採集する. 植物研究雑誌 83 : 121-123.

張 裕平・志田祐一郎・山崎真実, 2011. 水質と光条件に着目したバイカモとチトセバイカモの生育環境に関する考察. 陸水生物学報 26 : 77-85.

山崎真実・丸山まさみ, 2013. ウキミクリの大雪山系南東地域における新産地と国内の分布. 分類 13(2) : 123-128.

山崎真実, 2015. フォーリーが採集したヒナミクリ *Sparganium natans* L. (ガマ科)の産地は厚真である. 植物地理・分類 63 : 25-29.

Takashi Shiga, Syou Kato, Mitsuru Usuba, Takashi Yamanouchi, Tomohiro Kurazono, Yu Hirasawa, and Mami Yamazaki, 2017. Genetic Identification of *Sagittaria natans* Pall. (Alismataceae) from Lake Yonuma (Iwate Prefecture) as a New Locality in Japan. Journal of Japanese Botany 92 (2): 184-192.

山崎真実・加賀谷仁左衛門・木村益巳, 2020. ホザキヤドリギ(オオバヤドリギ科)を北海道から初めて記録する. 植物研究雑誌 95(5) : 310-314.

首藤光太郎・山崎真実・佐久間春子・富士田裕子, 2023. 北海道新産のゴハリマツモ(マツモ科)と道内におけるマツモ属の極めて稀な結実記録. 植物地理・分類研究 71(1): 65-71.

Kohtaro Shutoh, Tomoki Hirose, Takashi Shibahara, Mami Yamazaki, Takashi Shiga, 2022. Obtaining new records of critically endangered *Potamogeton praelongus*

(Potamogetonaceae) depending on groundwater springs in northern coastal areas of Hokkaido, Japan. Journal of Asia-Pacific Biodiversity Vol.15, Issue 4: 665-670.

[オープンアクセス]<https://doi.org/10.1016/j.japb.2022.07.004>

(2)その他の論文・報告(査読なし) 26本

高橋英樹・山崎真実, 1999. 植物版レッドリスト中の北海道産情報不足種の現状. 北方山草第 16 号: 52-55.

山崎真実, 2000. 北海道山岳地域における絶滅危惧植物. 北方山草第 17 号: 8-11.

上村純平・持田 誠・山崎真実・吉沼利晃・長津 恵, 2002. 野幌森林公园における水草相(予報)－新たに記録された水草および絶滅危惧種について－. 野幌研究 1: 25-30.

高橋英樹・山崎真実・佐々木純一, 2002. 雨竜沼湿原ペンケペタン川の水生植物, 財団法人前田一步園創立 20 周年記念論文集「北海道の湿原」(辻井達一・橘ヒサ子編著), pp. 217-222, 前田一步園財団. 阿寒町.

持田 誠・山崎真実・内田暁友, 2002. 札幌市近郊のイチョウウキゴケ産地. 水草研究会会報 76: 40-42.

山崎真実, 2003. 北海道ニセコ山系神仙沼湿原およびパンケ目国内湿原の水生植物. 水草研究会報 78: 6-11.

山崎真実, 2004. 北海道における外来種フサジンサイ(ハゴロモモ)の新たな確認地点. 水草研究会誌 80: 37-38.

山崎真実, 2005. 札幌市南区空沼岳のイトキンポウゲ. 北方山草第 22 号: 33-36.

山崎真実・石狩自然誌研究会, 2007. 北海道石狩市「親船名無沼」の水生植物相. 水草研究会誌 88: 7-13.

丸山まさみ・山崎真実, 2011. 北海道然別湖におけるカラフトグワイの現状. 水草研究会誌 96: 1-7.

山崎真実・丸山まさみ・持田 誠, 2012. 北海道大雪山国立公園, 然別湖の植物 IV. 然別湖および東雲湖の水生植物相. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告第 34 号: 19-26.

山崎真実, 2012. ウマノスズクサ(移入)の北海道初記録. 北方山草第 29 号: 125-126.

山崎真実, 2012. 宮島沼の水生植物, 「みんなでマガソを数える会 25 周年記念誌」(牛山克巳編), pp. 53-57, 宮島沼の会. 美唄市.

佐藤広行・吉沼利晃・山崎真実, 2012. 市販の水草とともに移動したアオモントントボおよび北海道内への国内外来化リスクについて. 水草研究会誌 97: 1-3.

小玉愛子・山崎真実・片桐浩司 2013. 勇払湖沼群頭部における平木沼湖沼群の水生・湿性植物および植生について. 苫小牧市博物館館報第 10 号研究報告: 61-78.

丸山まさみ・山崎真実, 2013. 北海道大雪山国立公園, 然別湖の植物 V. 然別湖の水生植物相－2012 年の状況と新たな確認種, および聞き取りによる過去の分布について. 上士幌

- 町ひがし大雪博物館研究報告第 35 号 : 1-7.
- Mami Yamazaki, Hiroyuki Sato, Yukie Kato, Tomoko Fukuda and Hideki Takahashi, 2014. Aquatic Plants Collected in Kunashir and Iturup Islands, in 2012. Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin 4: 42-46.
- 山崎真実, 2015. 北海道におけるヒンジモ *Lemna trisulca* L. (サトイモ科) の新たな確認地點および分布情報. 水草研究会誌 102 : 24-30.
- 山崎真実・上村純平・水島未記・持田 誠・野幌森林公園植物調査の会・扇谷真知子・濱本真琴, 2017. 野幌森林公園のため池および周辺の水生植物相－2000～2004 年と 2016 年の調査から－. 北海道博物館研究紀要第 2 号: 61-82.
- 山崎真実, 2018. ハイハマボッスの新たな産地および生育環境について. 北方山草 35 : 39-44.
- 山崎真実, 2021. 2000 年～2020 年に発表された北海道の水草に関する文献資料リスト. 水草研究会誌 111 : 67-77.
- 首藤光太郎・山崎真実・宮本誠一郎・村上賢治・佐藤 謙, 2023. 礼文島久種湖の水生植物相. 水草研究会誌 114 : 1-9.
- 水島未記・佐藤利幸・山崎真実・野幌森林公園植物調査の会・扇谷真知子・神真琴・堀繁久・表渕太, 2023. 野幌森林公園地域のシダ植物相. 北海道博物館研究紀要第 8 号 : 1-26.
- 山崎真実・首藤光太郎, 2023. 札幌市東区におけるヒンジモ *Lemna trisulca* L. の新たな生育地点記録及びサッポロさとらんど内「さとの池」の水生植物相. 水草研究会誌 115 号 : 17-24.
- 首藤光太郎・山崎真実・中里清孝, 2024. 北海道羊蹄山麓半月湖の水生植物相. 水草研究会誌 116 : 1-10.
- 加藤ゆき恵・首藤光太郎・城坂（平林）結実・水島未記・持田 誠・山崎真実 2024. 北海道内博物館合同展示「推し花の押し花～牧野富太郎と植物標本」の報告. 北海道博物館研究紀要第 9 号 : 127-136.
- 山崎真実・首藤光太郎, 2025. 札幌地域の絶滅危惧植物の現状について（予報）. 北方山草 42 : 107-116.
- 山本亜生・小田桐 亮・山崎真実, 2025. 道央地域におけるカマキリ目の記録. 小樽市総合博物館紀要 38: 7-11.

### 3) 学会・研究会での発表

- 日本植物分類学会 ポスター発表（第 30 回大会 2000 年 3 月）
- 日本植物分類学会 ポスター発表（第 31 回大会 2001 年 3 月）
- 水草研究会 口頭発表（第 23 回 2001 年 8 月）
- 日本植物学会 口頭発表（第 67 回大会 2003 年 9 月、札幌）※

水草研究会 口頭発表（第26回 2004年8月）  
水草研究会 口頭発表（第27回 2005年8月）※  
水草研究会 公開講演会にて講演（第28回 2006年8月、札幌、実行委員会委員長※）  
漂着物学会 一柾展示（第6回 2006年10月、えりも町）※  
日本生態学会 ポスター発表（第56回大会 2009年3月、岩手）※  
日本植物分類学会 ポスター発表（第9回大会 2010年3月、愛知）  
水草研究会 ポスター発表（第32回 2010年8月、大阪）※  
日本植物分類学会 口頭発表（第12回大会 2013年3月、千葉）  
日本湿地学会 ポスター発表（第6回 2014年9月、札幌）  
水草研究会 口頭発表【共同研究、発表者：新潟大学志賀博士】（第38回 2016年8月、高知）※  
日本生態学会 ポスター発表（第64回 2017年3月、東京）  
水草研究会 口頭発表【共同研究、発表者：北大総合博物館首藤博士】（第44回 2022年8月オンラインのみ、事務局札幌（実行委員として協力））  
日本植物分類学会 口頭発表【共同研究、発表者：北大総合博物館首藤博士】（第22回 2023年3月ハイブリッド開催、千葉、オンライン参加）  
水草研究会全国集会 ポスター発表（第45回 2023年8月現地開催、札幌（実行委員でも協力））  
北海道自然史研究会 口頭発表（2023年度大会 2024年2月、札幌）  
加藤ゆき恵（釧路市立博物館）・首藤光太郎（北海道大学総合博物館）・城坂（平林）結実（美幌博物館）・水島未記（北海道博物館）・持田 誠（浦幌町博物館）・山崎真実（札幌市博物館活動センター），北海道内博物館合同展示「推し花の押し花-牧野富太郎と植物標本」の報告。（札幌市博物館活動センターでの展示を会場に持ち込み展示）  
北海道自然史研究会 口頭発表（2024年度大会 2025年2月、札幌）  
山崎真実・工藤将貴・首藤昌子・西村あまな・山田良輔・田中嘉寛（札幌市博物館活動センター2024年度職員），既存の子育て支援施設と連携協力したアウトドア活動「標本と絵本」～札幌市博物館活動センター事例報告～.  
第63回北海道博物館大会 ポスターセッション（2025年7月、札幌）  
山崎真実・工藤将貴・首藤昌子・西村あまな・山田良輔・田中嘉寛（札幌市博物館活動センター2024年度職員）事例報告 札幌市博物館活動センターのアウトドア活動～既存の子育て支援施設と連携した「標本と絵本」.

（2001年10月以降の※印は個人活動として参加・発表。）